

審判活動手順及び審判団打合せ事項(参考)

90分前:試合会場到着→60分前:マネージャーズミーティング、メンバー表提出、ユニフォームチェック、審判団打合せ
→審判団でアップするか、各自アップ。役割ごとに各自用具準備。15分前:本部に集合。

1 試合前の準備

競技規程の確認

- ① 競技時間
- ② 同点の場合(引き分けか、延長、PKか、即PKか)
- ③ 登録選手数
- ④ ベンチ入り選手数、役員数及び交代可能人数
- ⑤ メンバー表と選手証の確認(氏名、登録番号)

1-2 グラウンドの確認

第1試合の審判団が行う

- ① ゴール及びネット(ネット補修のためビニール紐及びハサミを携行する、あるいは補修させる。)
- ② ゴールライン及びタッチライン(この時、自分の何歩が9.15mか確認する。少年は7m)
- ③ 各エリア及びマーク
- ④ コーナーフラッグ(要位置確認)
- ⑤ ベンチ位置及びテクニカルエリア
- ⑥ 主審は使用するボールを確認する(参考:空気圧はU12=0.8 U-15=0.9~0.85 がおおよその目安)

2 審判団打合せ事項

全体確認

- ① 時刻の確認(主審の時計に合わせる。時計は、2個用意)
- ② セレモニーの有無と方法
- ③ 選手を集合させる時間の確認
- ④ 用具チェックは先発
- ⑤ 4人の役割確認及びアシスタントの受け持つサイドの確認
- ⑥ アシスタントには位置につく前にゴール及びネットの確認をお願いする
- ⑦ 試合開始直前の合図方法
- ⑧ ゴール時及び懲戒時のブッキングは誰が行うか
- ⑨ 重大事件発生時(乱闘等)の各自の対応の仕方及び試合中や試合後、選手や役員が詰め寄って来たときの対応
- ⑩ 重傷事故発生時の対応の仕方と役割の確認
- ⑪ ロスタイムの連絡方法と表示の仕方(口頭かボードか)
- ⑫ 交代の手続き(メンバー表、交代用紙、選手、ユニフォームが一致しているか確認)
- ⑬ 主審の手続きに間違いがあった時の援助(再開方法、アシスタントジャッジに気がつかない場合)
- ⑭ 出血者の止血確認(鼻血は詰め物をしたままはだめ。止血は巻いて処置する。)
- ⑮ 怪我の際、ピッチに入れる役員数と持ち物(主審→4th→担架及び役員)
- ⑯ ジャッジの際、又はアウトオブプレー時のアイコンタクトと周囲の確認

アシスタントをお願いする事項

- ① オフサイドラインのキープ
- ② オフサイド判定のタイミング(オンサイドから来る選手の見極め、無用な接触が考えられる時等、十分に確認する)
- ③ ゴールラインまでしっかり走る(選手、役員、観客は見ています。)
- ④ スローインの監視分担
- ⑤ アシスタントサイドでの反則に対する合図の仕方(攻撃側の反則は早めに、守備側の反則はアドバンテージを見る)
- ⑥ ゴールインの合図の方法(きわどいものを含む→ゴールラインを割った後のクリア及びかき出し)
- ⑦ ゴール後、再開までの監視
- ⑧ ゴールキック、パントキックの監視(確認後、RとAとのアイコンタクト)
- ⑨ ペナルティーキックの位置確認と違反があった時の合図方法(アシスタントフラッグを後ろに回す等)
- ⑩ ペナルティーエリア付近の反則がエリアの外か内かの援助(シークレットサインとしてPK位置に回りこむ)
- ⑪ タッチライン、ゴールラインをボールが出たときのアイコンタクトと指し違い防止の方法(RサイドとAサイド)
- ⑫ 各ジャッジの時のアイコンタクト

3 4thオフィシャル(第4の審判)をお願いする事項

- ① 実キックオフ時間の記録
- ② 得点時間及び得点者の記録
- ③ 懲戒罰の種別、時間、対象者の記録
- ④ ベンチ内選手及び役員のコントロール
- ⑤ グラウンド内外の監視
- ⑥ イエローカード2枚目で退場を忘れた時の援助
- ⑦ 交代の手続き(メンバー表、交代用紙、選手、ユニフォームの確認)
- ⑧ ベンチ内の役員及び選手は大会規程の人数か否か

4 ウォーミングアップを入念に行う(審判のアップは選手、役員も見ています。)